

# 2024(令和6)年度 部局マニフェスト

## ～私たちの組織使命と目標～

部局名	地域連携部
役職	部長
氏名	藪中 英行
連絡先	0595-22-9639



業績目標の標語(指導者評価)  
 目標としていた達成水準を上回る成果を出した(100%超)  
 目標としていた達成水準に到達した(100%)  
 わずかに目標の達成水準に達しなかった(90%以上100%未満)  
 目標の達成水準には届かなかった(60%以上90%未満)  
 目標の達成水準までは遠い結果となった(60%未満)  
 目標達成のための取り組みが見られなかった

業績目標	表題	現状や課題	達成水準 (どこまでできれば達成したといえるか)
◎部局目標1 地域の活力を維持した魅力ある地域づくり	関連の施策・基本事業No. 6-1・① 地域力、地域防災力の向上に向けた地域支援	<p>&lt;これまでの経緯&gt;                      昨年の台風において、一部の地域で通信手段が断たれ、備蓄倉庫の資機材等の有効活用がなされなかった。</p> <p>&lt;現状分析&gt;                      各地域に配備されている防災倉庫やMCA無線機について、有事の際の有効活用がなされていない。</p> <p>&lt;課題&gt;                      実施に向けた地域間調整と、その後の意識醸成が必要である。</p>	<p>&lt;目標数値&gt;                      ・防災倉庫を配備している全ての地域において、備蓄品・資機材及び活用場面等の共有                      ・MCA無線機を設置している全ての支所、地区市民センター、地域間における通信訓練</p> <p>&lt;達成された状態&gt;                      有事の際、無線機や備蓄品等について、有効活用がなされている。</p> <p>&lt;手段・工程&gt;                      ・各地区市民センター配備職員を対象とした説明会                      ・地域担当職員等が中心となり、各地区市民センター単位における共有、点検、訓練の実施                      ・上記をきっかけに、地域防災力向上への意識付けを行い、取り組み意向のある地域へは、様々な世代の参画を前提とした避難所マニュアル作成や防災訓練等の側面的支援</p>
◎部局目標2 地域の活力を維持した魅力ある地域づくり	関連の施策・基本事業No. 6-1・① 時代に見合ったまちづくり計画への見直し支援	<p>&lt;これまでの経緯&gt;                      39の住民自治協議会の設立とともに、全ての地域においてまちづくり計画が策定されている。</p> <p>&lt;現状分析&gt;                      住民自治協議会が設立されてからまちづくり計画が一度も見直されていない地域が5件、10年以上見直しされていない地域が6件ある。</p> <p>&lt;課題&gt;                      見直しに向けては地域理解が必要不可欠である。</p>	<p>&lt;目標数値&gt;                      11地域に対して、まちづくり計画見直し検討のための動機付け協議を行う</p> <p>&lt;達成された状態&gt;                      時代に見合った持続可能な地域運営のためのまちづくり計画の見直しが検討されている</p> <p>&lt;手段・工程&gt;                      ・地域担当職員による地域へのアプローチと協議                      ・見直し意向のある地域へは、地域課題抽出のためのグループワークや10年後の未来を見据えた地域間協議のためのサポート</p>
◎部局目標3 市民公益活動団体の活性化	関連の施策・基本事業No. — 市民の主体的なまちづくりに向けた活動団体の掘り起こし	<p>&lt;これまでの経緯&gt;                      市民団体の活動内容などの情報を積極的に発信し、市民活動への市民の関心を高め、自主的なまちづくり活動への参加の推進を図ってきた。</p> <p>&lt;現状分析&gt;                      全国的に市民活動、また団体そのものが縮減傾向にあり、本市においても新たな団体登録が大幅に減少している(令和4年度 20件→令和5年度 6件)。</p> <p>&lt;課題&gt;                      人口減少社会における求められる中間支援のあり方そのものを検証する必要がある。</p>	<p>&lt;目標数値&gt;                      ・新たな団体登録数を10件以上とする。</p> <p>&lt;達成された状態&gt;                      市民活動団体等による個性的で魅力ある地域づくり活動が展開されている。</p> <p>&lt;手段・工程&gt;                      ・N-1グランプリへの投票の呼びかけ手法の充実                      ・SNSを活用した情報発信                      ・市民公益活動につながるセミナーや講座の実施                      ・中間支援のあり方についての先進地視察と方針のまとめ</p>

達成状況 (自己評価)	理由
<p>▶</p> <p>▶</p> <p>▶</p>	<p>目標としていた達成水準に到達した(100%)                      全ての地区市民センターにおいて、防災資機材の確認、MCA無線による通信訓練の実施ができた。</p> <p>目標としていた達成水準に到達した(100%)                      対象となる11地域中、10地域で動機付け協議を行ったほか、1地域は見直しに向けたワークショップが開催されており、結果的に対象地域中10地域で見直しに向けた検討がなされている。</p> <p>目標としていた達成水準に到達した(100%)                      市民活動支援センターが主催する講座の開催(3回)やSNSを活用した情報発信等により、新たに12団体の登録に繋がった。</p>